

下高野橋（しもこうやばし）

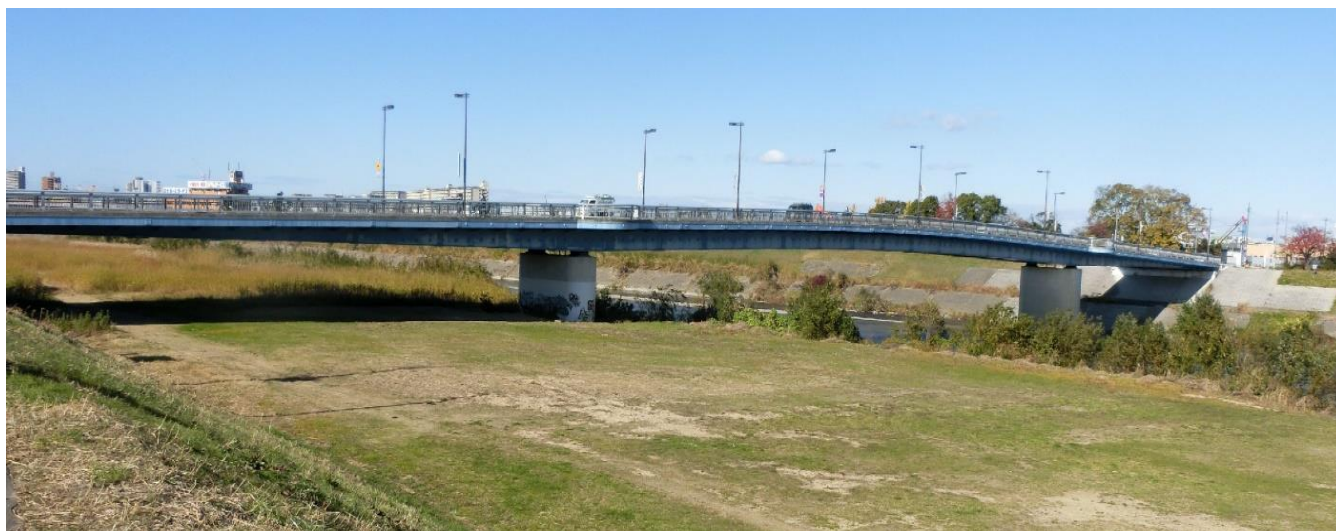


写真1 現在の下高野橋

諸元等

所在地	大阪市東住吉区矢田（府道 26 号線）
河川名	大和川
建設年	2013 年（平成 25 年）
形式	3 径間連続鋼箱桁
橋長	188.2m
幅員	14.0m

特徴

大阪市内から高野参りへの街道である下高野街道筋の大和川に架かる橋である。

昭和初期の 1927 年（昭和 2 年）に大幅に近代化された鋼鈹桁橋（橋長 180.4m、支間長 12.2m、幅員 7.9m）が完成し、1970 年（昭和 45 年）に拡幅が行われた。老朽化が進んだため架替られ、現在の橋は、2013 年（平成 25 年）に旧橋の上流側に設置された（写真 1）。

新橋は、高水時の河川の流下を阻害しないようにするため、旧橋の 15 径間割から 3 径間割として河道内の橋脚を減らすと共に、スレンダーにして桁高も低くする工夫がされている。さらに主桁構造は、最大支間長となる中央径間部は箱桁形式、支間長が短くなる側径間は鋼鈹桁形式を採用して経済性を高めている（写真 2、3）。高野参りの街道のイメージを表現する景観面の工夫がされており、歩道はタイル貼りとし、バルコニーも設けられている（写真 3、4）。また橋の袂で灯籠を思わせる親柱には、区の花「ナadeshiko」が刻まれている（写真 5）。



写真2 河川敷から望む



写真3 主桁形状



写真4 橋面



写真5 親柱

周辺環境と橋の歴史

下高野街道は、天王寺(大道)から矢田地区の中央を通り、下高野橋で大和川を渡って阿麻美許曾神社前を過ぎて南下し、西除川に沿って布忍神社前を通り、岩室で西高野街道に合流する(写真6)。大和川は治水を目的として1704年(宝永元年)に付替られたが、川で遮断された従来の通行を補償するため下高野街道上に、明治中期までは木橋、明治後期以降は永久橋として鉄橋に架替られてきた。



写真6 阿麻美許曾神社

参考文献

大阪の橋 松村博

大阪市ホームページ

<https://www.city.osaka.lg.jp/kensetsu/page/0000026503.html>